

2018 年度

事業計画書

公益財団法人 都市活力研究所

はじめに

世界経済は、緩やかながらも着実に拡大し株高を演出、日本経済もその恩恵を受け、現在の日本の景気回復期間は、2012年12月から継続し、戦後2位のいざなぎ景気を超える勢いである。

そして関西経済も、米ニューヨーク・タイムズ紙が「今年行くべき世界の場所2017」で大阪を選出する等インバウンド効果も貢献し、緩やかに拡大している。このようななかで、大阪では国際博覧会(万博)の2025年誘致に向けた活動が活発化し、その他にもカジノを含む統合型リゾート(IR)の計画、鉄道や道路の新動脈の開発計画、うめきた2期区域開発計画等が動きはじめた。また、2019年には日本で初めて主要20カ国・地域首脳会議(G20サミット)が、2021年にはアジアで初めてワールドマスターズゲーム 2021KANSAI が開催予定である。

当法人では、昨年度、ライフサイエンス分野において立ち上げたばかりのいくつかのプロジェクトを力強く推進し軌道に乗せ、本分野の産業振興の一助となるべく努めてきた。また、「HackOsaka」も開催6回目を迎え、大阪で毎年2月に開催される国際会議、そしてスタートアップの祭典としての存在感を発揮した。今年度も、これらの動きを加速させながら、産業の活性化に取り組んでいきたい。

一方、まちづくり分野でも、今年度は昨年度から新たなテーマで動き出した研究会やセミナーが本格稼働する年である。

当法人では、今年度も大阪を中心とする都市活力の向上に貢献していくために、大阪を取り巻く環境を把握し理解しながら、「ライフサイエンス分野における産業振興」「起業家と起業マインドを育てるエコシステムの形成」「まちづくりの調査研究」という活動を通じて、地域社会の健全な発展に寄与していきたい。

【公益事業1】産学官の交流連携を促進するとともに人材育成、教育研修を実施することで、産業を振興し、地域社会の活性化を図る事業

1. ライフサイエンス分野における産業の振興

創薬やヘルスケア分野をはじめとするライフサイエンス分野において、大学等の有望な技術や研究テーマである創薬シーズの育成支援、創薬分野へのコンピュータの利用促進を図るための事業推進、技術経営プログラムの提供、そして国際的な事業連携の課題等の調査を通じて、産業の振興を図る。

(1) 創薬シーズの育成

A. 創薬シーズ相談会（相談、助言）

創薬シーズを保有する研究者からの相談に対して、産業界のニーズに精通した製薬企業の研究企画部門担当者等が、研究開発の方向性について助言を行う。

創薬シーズを全国から収集するために、2015年度から連携している医療系産学連携ネットワーク協議会（medU-net）を通じて、地方の大学においても認知され参加してもらえるよう努め、今年度は6回程度実施する。

なお、創薬シーズ収集のチャンネルとして、大阪府が年1回実施する「創薬シーズ事業化コンペティション」に共催する。

(2) 創薬分野におけるコンピュータ利用の促進

A. AI コンソーシアム（LINC）（調査、資料収集）

創薬分野における AI（人工知能）の活用を促進するため、京都大学、理化学研究所、医薬基盤・健康・栄養研究所をはじめ製薬会社や IT 企業とともに立ち上げたコンソーシアムの事務局として運営を行う。

最終的には、非競争領域の AI のプロトタイプシステムの構築を目指す。

B. FMO コンソーシアム（調査、資料収集）

創薬における計算機利用のうち、FMO（フラグメント・モレキュラー・オービタル）法という量子科学計算手法による蛋白質と化合物の結合状態を解析するアプリケーションの創薬現場での利用可能性を検証するコンソーシアムの事務局支援を行う。

C. インシリコ創薬支援事業（調査、資料収集）（講座、セミナー、育成）

（特非）バイオグリッドセンター関西や神戸大学と協力し、創薬分野におけるスーパーコンピュータの利用（インシリコ創薬）を推進する。今年度は、アプリケーションソフトの講習会を実施するほか、今後の取組みのあり方について検討を行う。

(3) ライフサイエンス産業人材の育成

A. バイオ講座（講座、セミナー、育成）

ライフサイエンスMOT講座として、起業を視野に入れたライフサイエンス分野の法律・知財、海外取引等、必要な知識とスキルが学べる技術経営講座を、5年目となる今年度も神戸大学とともに実施する。約半年間全8日、座学および交流会から成る。起業家および企業内起業家を育成し産業振興につなげることを目的とする。

また、2017年度までライフサイエンスMOT講座内のグループワークとして開講していた「デザイン思考」講座を、今年度は入門から応用までを系統立て、企画力の向上を目指した講座として独立して実施する。

B. 関西ライフサイエンス・リーディングサイエンティストセミナー（講座、セミナー、育成）

受講者に健康産業に対するインスピレーションおよび産業化へのイメージーションを与えることを目的に、ライフサイエンス分野で最先端の研究を展開している関西の研究者を招いたセミナーを、今年度も4回実施する。産学官にわたる組織横断的なコミュニティの醸成や対話の促進につなげる。

C. スマートウェルネス・オープンセミナー（講座、セミナー、育成）

健康・医療分野の産業振興に資する新たなビジネスモデルや新たな医療関連サービスの創出を目指して、健康医療関係の専門家や有識者を招き、本分野の最新情報を提供するセミナーを実施する。

(4) ヘルスケア産業のあり方に関する調査・研究

A. グローバルヘルスイニシャティブ（調査、資料収集）

健康・医療分野の諸機関の国際展開と国際連携を支援する機能を持つ拠点を大阪・関西に置くことの実現可能性を調査するために、大阪商工会議所等と共に試行的研究会を実施する。また、その情報を基にしたセミナーを2回程度実施する。

2. 起業家と起業マインドを育てるエコシステムの形成

起業家が集まり、あるいはふ化する魅力ある環境の形成を通じて、産業の振興を図る。

(1) 起業家人材の育成

A. GVH Demo Day, Meet Up（講座、セミナー、育成）

起業家支援オフィスであるGVH大阪の会員メンバーを中心に、在阪起業家のさらなる成長を促進することを目指し、投資家との接点づくりのためのGVH Demo Day、起業に関する知見を広げるためのMeet Upを実施する。今年度からは特に、学生や外国人のコミュニティ形成を強化していく。

B.GVH Startup Camp （講座、セミナー、育成）

起業家の輩出をめざし、大学生、若手社会人を対象とした短期集中型起業家育成プログラムを、今年度も週1回のペースで2か月に渡って実施する。

C.スーパーコンピューティングコンテスト （表彰、コンクール）

高校生・高専生を対象としたスーパーコンピュータのプログラミング・コンテストを、大阪大学、東京工業大学に協力し、今年度も8月に実施する。

(2)世界の先進事例の紹介と海外へ向けた情報発信

A.国際会議「HackOsaka」 （講座、セミナー、育成）(表彰、コンクール)

大阪・関西における起業マインドを醸成し、地域起業支援コミュニティを活性化するため、海外のイノベーションへの取り組みの先進的事例を紹介するとともに、国内外の起業家を対象としたビジネスプランコンテストや交流促進のためのイベント、商談会等の企画運営を、大阪市とともに今年度も2月に実施する。

【公益事業2】まちづくりを推進し、都市の活性化を図る事業

1. 都心まちづくり等のあり方に関する調査研究

新しいまちづくりのあり方について産学官で議論する場をつくり、今後の新しい方向性の提言等により、新しいムーブメントの醸成に寄与する。

(1) UII まちづくり研究会 （調査、資料収集）

大阪都心部の活性化に向けてこれからのまちづくりのあり方を研究する研究会を設置し調査研究を行う。具体的には、大学との共同研究2件、当財団主体による研究1件を行うものとして、テーマを下記の通りとする。

- うめきた周辺地域におけるクリエイティブ人材誘引のための職住環境のデザイン
- コミュニティ活動を通じた地域文化資源発見
- 大阪の個性化とまちづくり

(2) UII まちづくりフォーラム （講座、セミナー、育成）

まちづくり分野での新たな施策・制度や動向を紹介するセミナーを今年度も複数回実施し、大阪・関西の都市が抱える課題や解決の方向性について、様々な視点から議論を深める。

(3) UII まちづくりレターの配信 （調査、資料収集）

まちづくりに係わる様々な話題や動向を調査してレター形式によりひろく発信する。

2. 鉄道沿線まちづくりに関する調査研究

大都市近郊部の高齢化や人口減少等の課題に対応するため、鉄道の駅を中心としたコンパクトなまちづくりを目指して、鉄道沿線価値の維持・向上に向けた調査研究を行い、提言につなげる。

(1) コンパクトシティ形成促進方策に関する研究 （調査、資料収集）

大都市近郊エリアの市町村に存在する郊外住宅地において、今後人口減少・高齢化することで生じる問題への対応方策について調査研究を行う。

(2) 都心近接エリアにおける鉄道沿線まちづくりに関する研究 （調査、資料収集）

都心近接エリアの活性化に向けて、今後整備される鉄道等のインフラと関連付けて将来構想を立案するため、対象エリアを定めて調査研究を行う。

(3) 研究交流セミナー「これからの郊外、住まいと鉄道」（講座、セミナー、育成）

大都市圏の縁辺部に位置しながら鉄道ネットワークに支えられている郊外地域にスポットをあて、その環境資源を最大限生かした住宅地再生・再編の方策を議論するセミナーを1回実施する。

3. まちの国際化に関する調査研究

外国人観光客が大阪を中心に大阪・関西で急激に増加するなか、その受入れ環境整備は喫緊の課題である。また、海外から来阪するビジネスマンや外国人居住者についても、これからの都心部の活性化を考えるうえで欠かせない要素となっている。彼らがストレス無く快適に活動することができるまちづくりのあり方について、調査や情報発信を行う。

(1) 関西ツーリズムサポーターズ（調査、資料収集）

外国人留学生の目から見た大阪・関西のインバウンド観光のあり方やインバウンド受け入れにあたっての現状やあり方について、調査、資料収集や意見のとりまとめを行う。

(2) 観光のひろば・観光イノベーションアカデミー（講座、セミナー、育成）

インバウンド観光分野での先進的な取り組みや成功事例を紹介する「観光のひろば」を NPO 法人スマート観光推進機構とともに開催し、情報の提供と観光関係者のコミュニティ形成を図る。

また、この分野での起業や新規事業の立ち上げを目指す若手社会人や学生を対象とした「観光イノベーションアカデミー」を開催し、将来の観光を担う人材の育成と新しいビジネスの形成を支援する。

(3) エリア MICE の推進に関する調査・研究（調査、資料収集）

インバウンド観光のなかでも都心ビジネス地区ならではの集客要素としての MICE (Meeting Incentive Convention Exhibition) 誘致への取り組みが欠かせない。梅田地区を例にとり、関連事業者とともに研究会を立ち上げ、ユニークベニユーの開発や窓口機能の有り方について調査・研究する。

【その他事業】産業とまちの活性化のために実施する公益事業をより有効なものとするための補助的事業

1. 創薬関連プロジェクトの推進支援

大阪の地場産業である製薬業界の振興のため、非競争領域における創薬の基盤技術の普及や促進のための活動を支援する。現在は、コンピュータやヒト細菌叢(マイクロバイーム)の利用促進に関する活動を支援している。

(1) (特非) バイオグリッドセンター関西の運営支援

情報技術とバイオ、医療の融合分野における研究開発並びに教育普及活動を行うことを目的として設立された同法人の事務局を受託し活動の支援を行う。

- バイオグリッド HPCI プロジェクト(KBDD プロジェクト)

同法人や製薬企業等とともに、スーパーコンピュータ「京」の産業利用枠を活用した創薬関連プロジェクトを推進し、「京」の産業利用促進のための調査研究を行う。また、2020年稼働の次世代スパコン向けの創薬アプリ開発に向けて製薬業界の意見集約等を行う。

(2) (一社) マイクロバイームコンソーシアムの運営支援

昨年度設立した製薬企業を中心とする企業コンソーシアムでは、腸内や皮膚、唾液等のヒトの細菌叢の研究におけるデータの前処理や解析法の推奨プロトコルの策定等を行っている。最終的には細菌叢の健康人データベースの構築を目指す。当法人は、同法人の事務局を受託し活動の支援を行う。

2. エリアマネジメント活動の支援

公益事業2において調査・研究したまちづくりのあり方を実践に移すため、主に都心部におけるエリアマネジメント団体等の諸活動を支援する。

(1) 梅田地区における案内所業務への支援

都心部における案内サービスのあり方を検討するとともに、各案内所で共通で利用できるツールの作成を通じて案内所業務への支援を行う。

(2) 梅田地区エリアマネジメント実践連絡会の活動支援

同連絡会が国土交通省の補助金を活用して実施する海外企業誘致のための受入れ環境整備やプロモーション事業の支援を行う。

(3) エリアマネジメント活性化会議の事務局支援

大阪市内におけるエリアマネジメント活動の活性化に向けたアクションプログラムとガイドライン策定をめざし、大阪市と市内8団体により構成する会議の共同事務局を運営する。今年度は公共空間の利活用ガイドライン策定に向けた社会実験等を行う。

3. (公社)都市住宅学会関西支部の運営支援

大都市近郊部の高齢化や人口減少等の課題に対応するため、鉄道の駅を中心としたコンパクトなまちづくりについての調査研究等を行っている同学会の事務局を受託し活動の支援を行う

4. 起業支援オフィス「GVH 大阪」の運営

大阪地区の起業環境を整備、改善し、起業活動を活性化するため、コワーキングオフィス「GVH 大阪(グローバルベンチャーハビタット大阪)」を運営するとともに、同施設の利用者への事業開発支援を通じ、技術革新や新たな価値創造を支える人材の育成、及び環境整備の方策検討のための知見獲得を目指す。

以上